

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切に作る三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年10月15日発行

文責 校長 増崎 祥宣

小体会出場選手を励ます会を実施しました。

10月8日（火）、いよいよ本番を間近に控えた6年生に対して、励ます会を行いました。まずは、6年生の入場。ユニフォームを着て堂々と入場する姿や真っ直ぐな姿勢で話を聞く態度に1年生から5年生もあこがれを抱いていたようです。陸上、球入れ、男女サッカー、それぞれのキャプテンから本番へ向けての決意表明では、一人一人の表情から意気込みを感じました。

その後、1年生から5年生の応援がありました。5年生が中心になって考え、練習を重ねてきました。替え歌や振り付けなど、大きな声を出しながら応援の気持ちを伝えました。後日、1年生からは、ペアの6年生へメッセージカードも渡されました。それぞれの思いが伝わったいい集会となりました。これまで、練習を一生懸命頑張ってきた6年生、明日の本番では、練習の成果が出せるように、また、思い出に残る小体会になるように願っています。



ふれあいセンターに行きました。2年生。

生活科の町たんけんでは2年生がふれあいセンターの見学に行きました。

交通指導員でもある、センター長の小村さんから施設の案内をしていただきました。運動や調理をする部屋があり、話し合いや茶道をする部屋もありました。みんなが利用できる図書室もありました。

子どもたちは、考えてきた質問に答えてもらいながら、ふれあいセンターの役割について学びました。



継続は力なり。

以前、読書の習慣をとということで学校便りでもお知らせしましたが、先日の雨の日には、たくさんの児童が図書室に足を運んでいました。図書委員とのじゃんけんにも勝つと、もう一冊本を借りられるという企画もあり、図書室は大盛況でした。少しの時間でも毎日、本に触れる習慣を身に付けさせたいと思います。また、10月はAIドリル「キュビナ」の強化月間でもあります。こちらでも毎日、少しずつでも取り組めるよう声掛けと励ましをお願いします。